

ジャカルタ都市高速鉄道事業（第2期区間：2A） 信号システム受注

日本信号株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：塚本英彦）は、双日株式会社から、ジャカルタ都市高速鉄道事業（第2期区間：2A）の信号システム一式を受注いたしました。受注金額は約60億円です。

当社は、無線式列車制御システムSPARCS（当社製CBTC^{※1}）、電子連動装置、PID^{※2}システム、現場機器等を納入致します。

ジャカルタ都市高速鉄道事業第1期区間は、ジャカルタ都市圏をルバックブルス駅からブンデランHI駅までを結ぶ南北総延長15.7kmの都市鉄道で、当社はSPARCSを含めた信号システムや、AFC^{※3}システムを納入しております。

2019年3月に全線開業し、現在まで安定稼働を続けていることが大変評価され、延伸区間である第2期区間（2A）につきましても弊社の信号システムをご採用いただきました。

第2期区間（2A）は北伸路線であり、第1期区間の終端駅であるブンデランHI駅からコタ駅までの総延長6km、7駅で構成されます。

第1期区間で積み上げた経験を活かし、利便性向上や交通渋滞の緩和による快適で安全な街づくりに貢献してまいります。

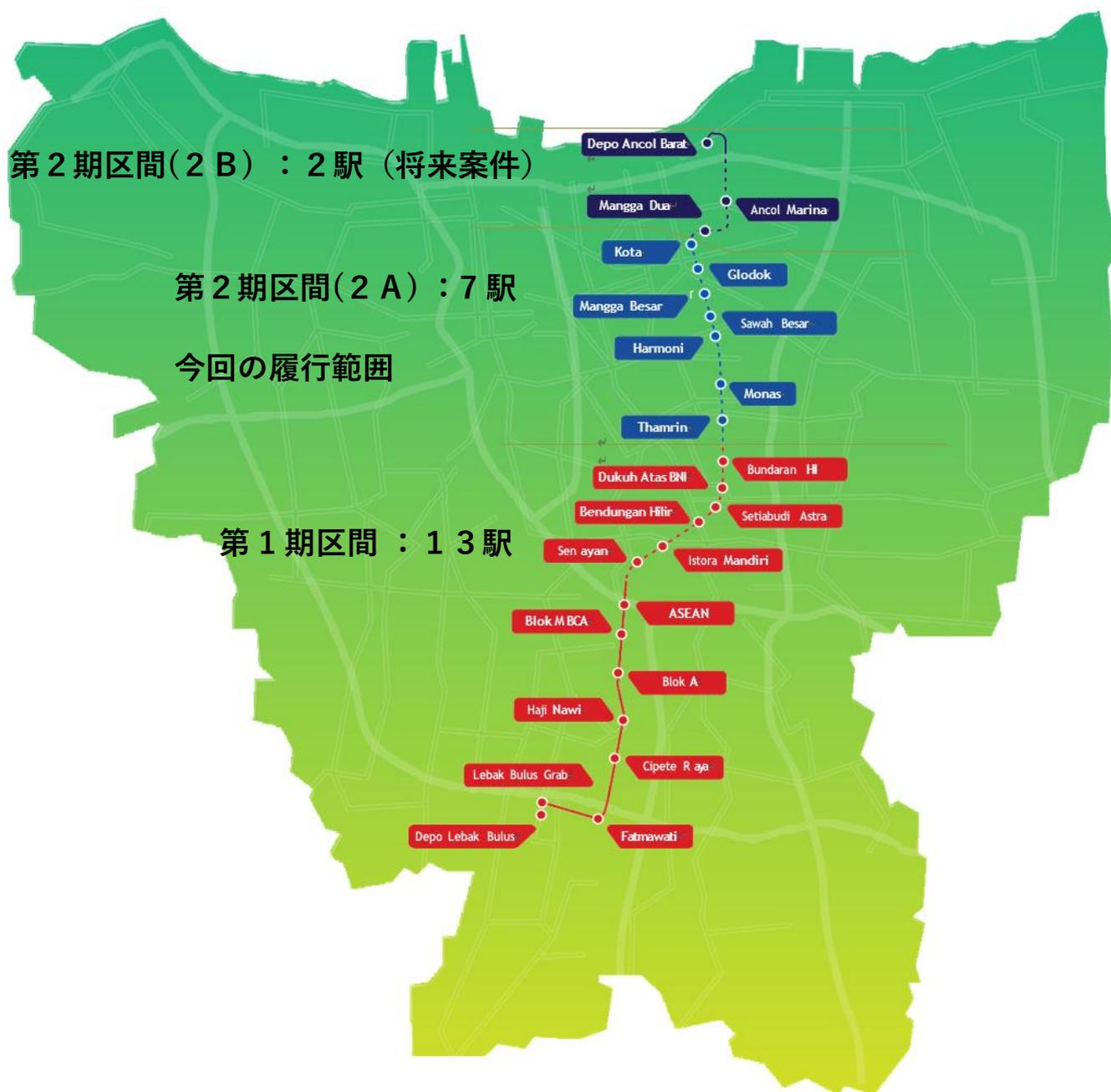
※1：CBTC…Communication Based Train Controlの略。軌道回路等の閉塞によらず、無線により地上車上間で大容量データを通信し、列車を制御および防護するシステム。一般的なシステムと比較し、約70%のCO2削減が期待できる。

※2：PID…Passenger Information Displayの略。駅コンコースや、プラットフォームで列車情報を表示するための表示機システム。

※3：AFC…Automated Fare Collectionの略。券売機、改札機等、運賃を収集するためのシステム。



ジャカルタ都市高速鉄道路線図



問い合わせ先

日本信号株式会社

〒100-6513 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング13階

総務部 Tel 03-3217-7200 Fax 03-3217-7300 E-Mail info@signal.co.jp